

望遠鏡観測部門報告 Report of Telescopic Meteor observations in October,2019. No.428

担当幹事 殿村泰弘(Tonomura Yasuhiro) 宮城県富谷市 (Tomiya-shi Miyagi-pref,Japan)

2019年11月の望遠鏡観測の結果を(表-1)に示します。今月は、いつもの寺迫氏と幹事の殿村から観測報告がありました。

観測者 Observer	観測地 Locality	夜数 Night	時間 Time	流星数 Meteor			備考 Remarks
				Plot	S' n	Total	
寺迫 正典 (Terasako Masanori)	静岡県浜松市北区 (Hamamatsu shizuoka-pref)	4	285	-	78	78	25cm×51 1.4° L.T. 15cm×25 2.7°Bino.
殿村 泰弘 (Tomomura Yasuhiro)	宮城県富谷市 (Tomiya Miyagi-pref)	3	270	-	0	0	15cmFl:900mm L.T.
2019年11月計		7	525	0	78	78	HR 8.9

(表-1) 2019年11月望遠鏡観測結果

Table 1 Summary of the Telescopic Meteor observations in November, 2019

● 出現数変化

2019年11月の出現数変化を(表-2)に紹介します。

UT																観測者 (Observer)
日	開始	JST	終了	JST	分	中央時	観測方向 (Direction)	Plot	Seen	Total	HR	Mag	See	CI		
4	17	31	18	31	60	4.376	Ser,Lib,Oph,Sco,Sgr,CrA,Tel	-	3	3	3.0	10.5	M		15cm Bino. *25	寺迫 (Terasako.M)
4	20	40	21	0	20	4.493	M45	-	0	0	0.0	11.0	M	0	15cm L.T.	殿村 (Tomomura.Y)
4	21	0	22	10	70	4.524	M45	-	0	0	0.0	11.0	M	0	15cm L.T.	殿村 (Tomomura.Y)
5	20	45	21	15	30	5.500	M45	-	0	0	0.0	11.0	M	0	15cm L.T.	殿村 (Tomomura.Y)
5	21	16	21	46	30	5.522	M45	-	0	0	0.0	11.0	M	0	15cm L.T.	殿村 (Tomomura.Y)
6	20	30	21	0	30	6.490	M45	-	0	0	0.0	11.0	M	0	15cm L.T.	殿村 (Tomomura.Y)
6	21	0	21	30	30	6.510	M45	-	0	0	0.0	11.0	M	0	15cm L.T.	殿村 (Tomomura.Y)
6	21	30	22	0	30	6.531	M45	-	0	0	0.0	11.0	M	0	15cm L.T.	殿村 (Tomomura.Y)
6	27	0	27	20	20	6.757	Aur,Lyn,Cam,Cep,UMi	-	12	12	36.0	12.0	rG		15cm Bino. *25	寺迫 (Terasako.M)
8	27	27	28	27	60	8.790	Gem,Cnc,Hya,Sex,Crt	-	31	31	31.0	12.5	G		15cm Bino. *25	寺迫 (Terasako.M)
8	28	40	28	55	15	8.825	Hya,Crt	-	1	1	4.0	11.0	rG		15cm Bino. *25	寺迫 (Terasako.M)
29	27	35	28	35	60	29.795	Lyn,UMa,Cam,UMi,Cep,Dra	-	25	25	25.0	12.0	rG		25cm L.T. *51	寺迫 (Terasako.M)
29	28	42	29	52	70	29.845	Vir,Lib,Boo,Ser,CrB,Her	-	6	6	5.1	11.0	rG		15cm Bino. *25	寺迫 (Terasako.M)
7 Night				525 Min.					0	78	78	8.9				

(表-2) 2019年11月の望遠鏡流星の出現数変化

Table 2 Telescopic Meteors Observational data in November, 2019

● 光度分布

2019年11月の望遠鏡流星の光度分布は、(表-3)に示すとおりです。

	-5.0	-3.0	-2.0	-1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	L-Mag	Total	Avg Mag.
寺迫 (Terasako.M)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	2	14	25	33		10.5 - 12.5	78	10.94
殿村 (Tomomura.Y)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			10.5	0	
Total	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	2	14	25	33	0		78	10.94

(表-3) 2019年11月の望遠鏡流星の光度分布

Table 3 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in November, 2019

Date(UT)	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	L-Mag	Total	Avg Mag.
4.376					1		2			10.5	3	9.33
6.757								5	7	12.0	12	11.58
8.790	1		1				3	10	16	12.5	31	11.03
8.825							1			11.0	1	10.00
29.795							5	10	10	12.0	25	11.20
29.845			1				2	3		11.0	6	9.00
Total	1	0	2	0	1	2	14	25	33		78	10.94

(表-4) 2019年11月の望遠鏡流星の各夜の光度分布(寺迫氏)

Table 4 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in November,2019(Terasako)

寺迫氏から、11月の観測についてのコメントが寄せられていますので、以下に紹介します。

「望遠鏡流星観測についての質問と回答」についての取りまとめを行なって頂き、大変に感謝しております。お陰様で多くの方々にご理解頂いたこと大変嬉しく存じております。有難うございました。さて、望遠鏡流星観測報告（令和元年11月分）ですが、6/7の観測はHR36.0となっておりますが雲に覆われたために、20分だけの観測なので参考にはなりません。8/9の観測で、またまたHR30越えを観測し、豆まき現象も一個所見られました。観測方向に少し疑問を持たれると思いますが、これは、1991年11月8/927:35~29:25の観測で”コップ座付近に多く流れた”という記録があったため、確認のため試みた訳です。コップ座には多く現れませんでした。この様な結果となりました。また、追跡調査を行って行きたいと考えております

● 幹事から

さて幹事は先月に紹介したように、15センチの屈折望遠鏡にデジタルカメラを取り付けて、連続して写真撮影か動画撮影をした観測です。これを眼視観測と同列で紹介して良いものか疑問があります。後で確認が可能な点が最大の利点かと思えます。色々試していることから1つの方向が決まってくるかと思えます。今回はおうし群を狙ってみたものの、流星を捉えることはありませんでした。2度程度の視野では、放射点付近とはいえ流星を捉えるのは、難しいでしょうし、どれくらいの明るさの流星を捉えられるかというデータも、集めていかなければなりません。もし流星を捉えることができたなら、天文回報などで紹介したいと思えます。

● 流星会議のお知らせ

2020年流星会議は、8月22日と23日に宮城県大崎市で開催します。22日は、旧古川市にある宮城県古川黎明中学・高等学校を会場に行います。先日自然科学部の顧問の先生から、校内の会議で会場借用の内諾をいただけたという連絡がありました。

東北新幹線古川駅から徒歩30分程度かかります。同じ新幹線で来られた参加者とタクシーの相乗り利用をお勧めします。東北道古川ICから10分程度です。

古川黎明中学・高等学校の自然科学部は、2019年の彗星会議で、彗星のスペクトルについての研究発表を行いました。今回は、流星のスペクトルについて研究を行っている別のグループの研究を紹介したいと思います。そしてこの研究を指導している高知工科大学の山本真行氏が講演を行うことにしています。研究発表の時間は、23日の午前中になります。

22日夕方からは、会場を同じ市内の旧鳴子町川渡にある「玉造荘」を会場に、懇親会と「第6分科会」を行います。「玉造荘」までは、40分程度かかります。バスを配車しますので、ご利用ください。ただし高校に車を置いておくことはできませんので、ご了承ください。22日の午後は駐車場を借用することをお願いしてあります。23日は、「NMS総会」、「分科会」と一般の「研究発表」を行うことを考えています。

したがって研究発表については、1件について15分+質疑5分で、**最大7件まで**を予定しています。

(高校生の発表を除く) **先着順とさせていただきます。**

「玉造荘」は東日本大震災後の会場でした。しかも深夜に大きな余震がありました。会議終了後に被災地支援に向かわれた参加者もいました。今回は9年5ヶ月後の復興の様子をご覧になられてはいかがでしょうか。昔の姿を知っている幹事としては、色々複雑な想いがあります。

(2019年12月25日 記)